

■土田杏村 評論家。定職につかず、病と闘いながら、文明批評し続け、自由大学運動にも大きな役割をして、早世。
 つちだきょうそん
 足尾鉋毒始・1891＝ 新潟県佐渡郡新穂村で、代々農業を営みながら村政中枢に関わってきた名望家土田千代吉の三男・末子に生まれる。次兄はのちの日本画家土田麦僊。

日清戦争始・1894＝ 3歳： 家計が苦しいなか、兄弟は、教育熱心な父から、多くの書物与えられ、趣味豊かな母からは絵の素養などを受け継いで育ち、
 八幡製鉄始・1897＝ 6歳： 新穂尋常小学校に入ると、将来学者になることを志すようになり、
 放課後は教頭の家で次兄とともに漢籍を学ぶなどしながら、成績は常にトップ、級長を続け、
 比翼/国産化・1900＝ 9歳： 本の仮名遣いの間違いを指摘して、教師を驚かし、
 田中正造直訴1901＝10歳： 早くも杏村と号するようになり、

日露戦争終・1905＝14歳： 高等小学校を卒業後も、
 韓国反日暴動1907＝16歳： 新潟師範学校に首席で入学、あまりの秀才で超然独歩的存在、

伊藤博文暗殺1909＝18歳： 韓国併合・・・1910＝19歳： {新潟新聞}に「絶対他力教に対する疑問」などを発表し、
 大逆事件判決1911＝20歳： 開校以来抜群の成績で卒業し、東京高等師範学校予科に首席で入学、
 明治天皇没・1912＝21歳： 社会の改革者たらんと、本科博物学部に進学の一方、プラグマティスト"街頭の哲学者"田中王堂に師事、
 大正政変・・・1913＝22歳： 高山樗牛への傾倒も始まる。初めてまとまった形の文明批評「新時代の教育観」を発表
 第一次大戦始1914＝23歳： 未刊の論文集「黄金時代」の推敲を重ね、処女作「文明思潮と新哲学」刊行、以後次々発表して注目されるが、
 21ヶ条要求・1915＝24歳： 卒業。*それまでの生き方に矛盾を感じて彷徨、湿性肋膜炎に罹って一時重態となり、思想的転回をし、宗教的体験から華嚴經に出会う。京都帝国大学文科大学哲学科に入学。「行為における信用の代償値」刊行。

民本主義・・・1916＝25歳： 「生物哲学」刊行。波多野千代子と文通始まり、
 ロシア革命・1917＝26歳： 千代子と結婚。「新時代の文明を論ず」「新自然主義、新印象主義」。
 本格政党内閣1918＝27歳： この年、桑木蔵翼が初めて"文化主義"の語使用。論文「現代哲学序論」を書いて、卒業し、大学院に進む。
 八咫鏡条約・1919＝28歳： 卒論最終章を書き改め*「象徴の哲学」刊行。"文化主義"を主張し始め「文化学と社会学」を発表、自宅に{日本文化学院}を創設し「文化学的研究」を刊行。個人的思想を表す雑誌が次々刊行されるのに合わせるように、
 大暴落・・・1920＝29歳： 個人雑誌{文化}を創刊。「靈魂の彼岸」で華嚴經の仏弟子を標榜。突然、信州神川村の青年山越脩蔵から手紙で要請され、{哲学講習会}に出講、向学心あふれる青年たちと意気投合し、
 原敬首相暗殺1921＝30歳： 時代の課題を正面から引受ける「文化主義原論」刊行。_第2回{哲学講習会}出講後、組織的・継続的なものとすべく「信濃自由大学趣意書」を執筆して、
 水平社結成・1922＝31歳： 「華嚴哲学小論攷」「自由教育論」刊行。「唾の如くに語る」*第1回{信濃自由大学}を開催。自らは病気で出れなくなるも、以後毎年、長文の手紙でさまざまなアドバイスをし、新聞雑誌に紹介執筆して支え、大学の先生招いて集中講義を行い、機関誌も発行、全国に広がる教育運動となるが、

関東大震災・1923＝32歳： 「女性の黎明」「新社会学」「教育の目的及び教育者」などを刊行。喉頭結核と判明。
 護憲三派圧勝1924＝33歳： 多数刊行。
 治安維持法・1925＝34歳： 「社会哲学原論」などを刊行。
 円本時代始・1926＝35歳： この頃、自分史「自叙履歴」。「日本支那現代思想研究」などを刊行。
 金融恐慌・・・1927＝36歳： 「国文学の哲学的研究」などを刊行。*マルクス主義流行とともに、この頃から、受講生が減少、出席者が負担に耐えられなくなって、
 共産党事件・1928＝37歳： 「社会哲学」など刊行。「現今教育学の主問題」を著して"社会教育学"を提唱、「農村問題の社会学的基礎」などで、消費組合はじめ経済や政治の運動論を積極的に主張し始める。「社会哲学原論」(再刊)は発禁。
 世界恐慌・・・1929＝38歳： 多数刊行。
 海軍軍縮条約1930＝39歳： 「人生論」「文明八何処へ行ク」、福本和夫・河上肇・三木清ら批判の「マルキシズム批判」などを刊行。_自由大学運動は終焉。ナチス躍進のニュースを聞いて、精神的社會教育を実行する国家公衆党を構想、
 満州事変・・・1931＝40歳： 「宗教論」などを刊行。
 五一五事件・1932＝41歳： 「人間論」ほか多数刊行。
 国際連盟脱退1933＝42歳： 「思想読本」ほか多数刊行。
 帝人疑獄事件1934＝43歳： 「思慕の春」刊行後、_没した。